

# 事業報告

## 令和3年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業 「放課後子供教室」体験プログラム普及・活用に向けた実践報告会

日時：令和4年2月28日（月）13:00～15:50 ※オンデマンド：3月11日（金）まで  
会場：大分県立図書館 視聴覚ホールでの集合参加  
Zoom によるオンライン参加  
YouTube 録画映像配信によるオンデマンド視聴参加  
参加者：18市町村68名【集合（9）、オンライン（31）、オンデマンド（28）】

### <研修趣旨>

平成30年度からの4年間で開発した、企業・高校等の外部人材を活用した体験プログラムについて、人材活用の目的やプログラム企画の趣旨などを改めて紹介することで、各地域での今後のプログラム活用の参考とする。また、広域的な視点での人材活用に対する意識を高め、各種体験プログラムの普及と効果的な人材活用を促進する。

### 【開会行事】



主催者あいさつ  
大分県立図書館  
副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



集合参加会場：県図書視聴覚ホール

本年度は、県によるプログラムの提示ではなく、研修趣旨（ねらい）の達成をめざした実践報告会を企画。また、研修参加機会の確保とコロナ感染対策のため、集合・オンライン・オンデマンドの3形態による実施としました。

### 【第1部】県による事業報告

- ①企業等外部人材を活用したプログラムの有効性について ② 高校と連携したプログラムの有効性について



大分県立図書館 学校・地域支援課  
主任社会教育主事 黒木 哲也



大分県教育庁 社会教育課  
指導主事 栗本 寛

## 【第2部】市町村とのプログラム協同実施 事例発表

①白杵市（紙漉き体験：R1 実施） ②豊後大野市（防災体験：R1 実施・和太鼓体験：R2 実施）



社会教育課 主幹 長田 大輔 氏

社会教育課 主幹 造士 明子 氏

③本年度協同実施した市町村のプログラム紹介（資料説明）



宇佐市 社会教育課  
主幹 栗林 和美 氏



杵築市 杵築市中央公民館  
館長 友岡 政博 氏



別府市 社会教育課  
指導主事 猪俣 陽亮 氏

合計で68名、県内18全ての市町村から参加していただきました。アンケートには、報告をとおして人材活用の目的やプログラム企画の趣旨などを改めて確認しながら、今後のプログラム開発の指針を得て、新たな視点での人材活用に対する意識を高めることができた等の声が多く寄せられました。今後の各市町村での具体的な実践に結びつくことが期待できます。また、事業に一区切りをつけ、新たな段階へステップアップする意味でも、有意義な実践報告会となったように思います。

### <参加者感想>

- 様々な地域の資源・特色を生かした取組や事例、事業実施の手法、その効果や課題（指導者の高齢化や事業のマンネリ化）等を知ることができ、大変参考になった。子どもたちの達成感も大いに感じられた。とても有意義な時間を過ごすことができた。
- 外部人材を活用することで、その人の生き様に触れられることも大きな意義。
- 単年度でなく（県の事業が終わっても独自で）継続した取組ができるよう工夫したい。
- コロナ禍で放課後子供教室の先行きを不安に思っている時に今回の研修に参加し、本事業の重要性を再確認することができたことに感謝。
- 報告内容を持ち帰って、地元で実施計画を立てたい。ひらめきやアイデア（子どもたちにとっても、計画する自分たちにとっても、新鮮で興味をもって楽しめる、スパイスになる体験 等）をいただいた。次の研修機会もとても楽しみ。
- 企業活用や高校と連携した活動は、子どもたちの将来（キャリア教育）にもつながる。
- 「高校」という、新たな選択肢・発想を得ることができた。